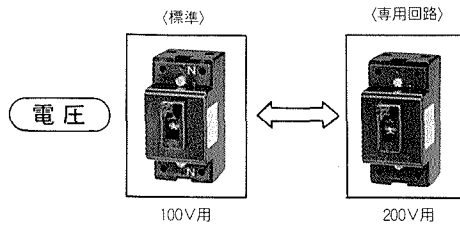
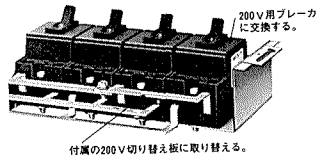


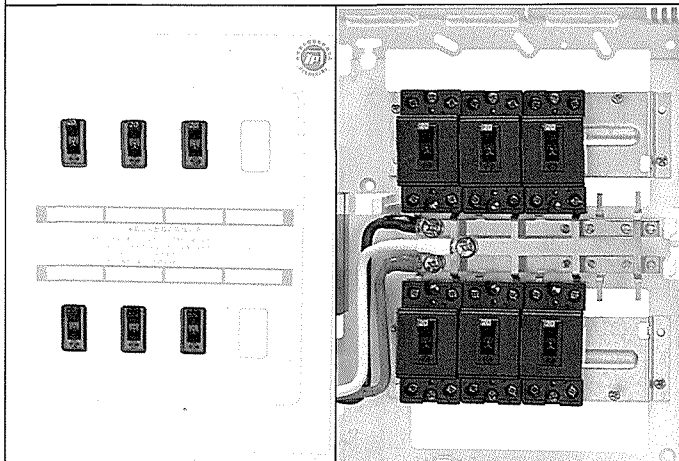
100V/200V 回路切替

(例) K 型



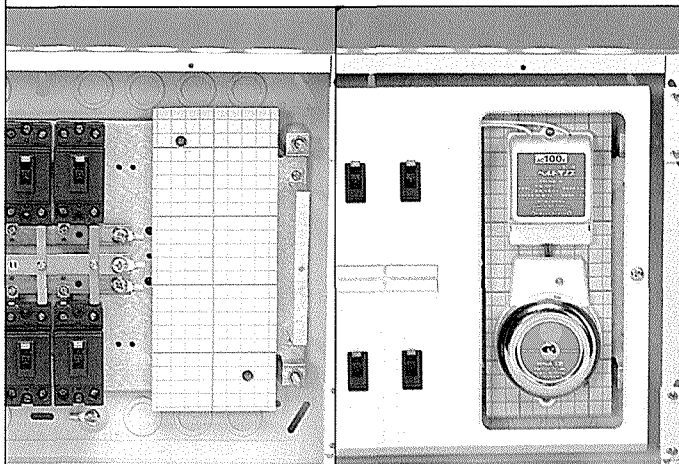
クーラー回路など 200V 回路が必要になった場合、単相 3 線式の分電盤では、分岐用ブレイカーを 2 極 1 素子 100V の JB-1Q 型から、2 極 2 素子 200V の JB-32Q 型に取り替えていただき、付属の 200V 回路構成用の導体をご使用いただければ簡単に 200V 回路が取れます。(200V 回路表示用のシールも付属しています。)

増回路スペース



将来、回路増設が予想される場合には、実装回路数に Y (予備) 記号の付いた型式記号の器種をお選びください。いつでも直ちに分岐の増設ができるように電源側配線がしてあります。

フリースペース



フリースペース付 (V6-G3SPN 等) 器種のフリースペースには、温水器用ブレイカ、ELCB、MCB、CKS 等の増設やブザー、チャイムトランス等の小勢力回路等、目的により自由にご利用いただけます。

フリースペースに組込むことができる機器は、JWDS0007 によりますと

- ①別系統の電源の引込開閉器
 - ②分岐開閉器の 2 次側に設けられる機器
 - ③分岐回路数が右表をこえない範囲での分岐回路の増設
 - ④負荷電流が 1A 以下の小勢力回路を母線に直接接続して設ける機器
- に限られますので御注意下さい。
A 型分電盤には、母線から直接電源がとれるよう圧着端子を付属しております。

相線式1φ3Wで主開閉器の付いた住宅盤の最大分岐回路数	
主開閉器の定格電流	分岐回路数
30A	6
40A	8
50, 60A	12
75A	14
100A	16

※フリースペース取付用木台寸法 (mm) H220×W90×D70

銅母線の容量

住宅盤規格による母線最小太さ (1V電線の場合)			(205-11 12-18表) 内線規定による幹線最小太さ (1V電線の場合)		テンパール住宅盤の母線太さ	
住宅盤の 定格電流	主開閉器の 定格電流	断面積 JIS C 8328	最大想定 負荷電流	断面積	1V電線	銅バー
30A	30A	8mm ²	30A	2.6mm ² (注1)	8mm ²	12mm ² (注1)
60A	40A	14mm ²	40A	8mm ²	14mm ²	15mm ²
	50A		50A	14mm ²		
100A	60A	38mm ²	—	—	I V の場合 38mm ² バー母線の場合、 バー母線の規定	30mm ² (注2) JIS C 8328 JWDS0007 バー母線規定に合致
	75A		75A	22mm ²		
	100A		100A	38mm ²		

一般に導体の許容電流は、導体を流れる電流の大きさと温度上昇の関係で定められます。

JIS C 8328, JWDS0007では、住宅盤に定格電流を規定の方法で通電した時、その温度上昇値の上限が50℃以内になるよう規定されています。

テンパール住宅盤の銅母線は、全ての器種についてこの規格に適合しており日本配線器具工業会の認定試験にも合格しております。

注1) テンパール住宅盤の30A 定格の分電盤に使用されている銅母線は、日本住宅公団デテールシートに記載された仕様 (容量 40A) を満足しており、内線規定に定められる最大想定負荷電流40A にも耐えられる容量をもっております。

2) 100A で30mm²の銅バー母線を使用しておりますが、これはJIS C 8328の6・3-(2) 5・1及びJWDS0007の5・7-(3) 6・7表14の銅バー使用の規定により30mm²でも問題なく使用できることを弊社が保証いたしております。